

政策03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

評価項目	評価
施策06 社会保障の充実	概ね適切

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p>【施策の環境変化】 ○日本の社会保障制度は、少子高齢化の進行、長引く景気の低迷と雇用環境の悪化、社会保障財源の確保等の問題に直面している 国においては、こうした問題に対応し、持続可能な社会保障制度と安定財源の確保を目指す、社会保障制度改革が進められている。 こうした、国政・社会情勢の変化に即した社会保障施策の実施が求められる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世帯収入の低下傾向 ・失業・雇用環境の悪化 ・地方税の減少 ・少子高齢化社会の進行 	<p>「・世帯収入の低下傾向 ・失業・雇用環境の悪化 ・地方税の減少 ・少子高齢化社会の進行」との記載があるが、これらは一般論であり、江別市としてのより具体的な環境変化を記載した方が良いのではないか。</p>	<p>市の実情を反映するような記載を検討する。</p>

担当部署の評価内容	委員の意見
<p>【施策の成果指標】 国民年金等の社会保障制度が充実していると思う市民割合</p>	<p>「国民年金等の社会保障制度が充実していると思う市民割合」とあるが、施策の意図にある「安定的な医療制度の下に、市民が健康で安心して暮らせるようにする。」からすると矛盾があるように感じられる。「社会保障制度」としてはあまりにも対象となる制度の範囲が広すぎるのではないか。意図からすればこの指標は「安定的な医療制度の下に、健康で安心して暮らしている市民の割合」が適当なのではないか。</p>

江別市行政評価外部評価委員会による評価結果

政策03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

評価項目	評価
施策06 社会保障の充実 基本事業01 生活困窮者の所得保障	概ね適切

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・札幌圏の雇用情勢は有効求人倍率等の数値上では回復傾向にあるものの、依然として低い水準にあり、働く意欲があっても就労にはなかなか結び付かない状況が続いている。 (平成23年度の札幌圏の求人有効倍率は0.4倍前後、市内の求人有効倍率は0.2倍を前後で推移) ・第二のセーフティネット事業、就労支援事業等を継続しているが、就労率及び就労人員ともに前年度を若干下回る結果となった。 	<p>「第2のセーフティネット事業、就労支援事業等」とあるがもう少しこの2つの事業の説明があった方がわかりやすいのではないかと指摘された。</p>	<p>表現を検討する。</p>

江別市行政評価外部評価委員会による評価結果

政策03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

評価項目	評価
施策06 社会保障の充実 基本事業02 市営住宅の整備	概ね適切

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p>【達成状況】 新栄団地建替実施設計において、全戸にユニバーサルデザインを採用した。 「江別市営住宅ストック総合活用計画」を踏まえ新たに「江別市営住宅長寿命化計画」を策定し、長期にわたって活用する予定の住棟は、市営住宅の長寿命化とライフサイクルコストの縮減を図る。 既存住宅の改修（屋根及び外壁）により住宅環境を整え、居住環境の向上を図った。</p>	<p>行ったこと・これから行うことの記載はあるが、成果指標の原因分析が全く為されていない。この記載が一番重要なので、記載していただきたい。</p>	<p>次回より記載する。</p>

担当部署の評価内容	委員の意見
<p>【意図】 住宅困窮者に対して低廉良質で高齢者や身体が不自由な方でも安心して生活できるユニバーサルデザイン住宅が供給される。</p>	<p>「ユニバーサルデザイン住宅が供給される。」とあるので、成果指標に「ユニバーサルデザイン住宅戸数割合」等があった方がよいのではないかと。</p>

江別市行政評価外部評価委員会による評価結果

政策03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

評価項目	評価
施策06 社会保障の充実 基本事業03 国民年金制度の啓発	適切

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
	【指摘等なし】	

江別市行政評価外部評価委員会による評価結果

政策03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

評価項目	評価
施策06 社会保障の充実 基本事業04 国民健康保険制度の安定	概ね適切

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
【成果指標】 国保地域差指数	「国保地域差指数」とあるが、これは市民にとってわかりにくい。補記した方がよいのではないか。	補記を検討する。

担当部署の評価内容	委員の意見
【達成状況】 国保の収納率は、電話催告や夜間・休日相談窓口・コールセンターの開設により、改善傾向にある。	口頭での説明に、「無年金者・無保険者の増加は全国的な問題になっている。江別市としても啓発に力を入れており、社会保険脱退の情報を基にその方に国民年金保険等加入の案内をしている。そのように無年金者・無保険者を減らす努力はしているものの、実態としてその数を把握することは難しい。」とあったが、そのような行政側の努力について記載があってもよいのではないか。

江別市行政評価外部評価委員会による評価結果

政策03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

評価項目	評価
施策06 社会保障の充実 基本事業05 高齢者医療制度の啓発	概ね適切

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
【達成状況】 平成23年度後期高齢者一人あたりの医療費については、医療技術の高度化等の影響により、目標値を超える医療費となりました。	「目標値を超える医療費となりました。」とあるが、これは読み方によっては多ければ多いほど良いようにも取れるので、表現方法の検討はできないか。	市民にとってわかりやすい表現を検討する。
	「医療技術の高度化等の影響」とあるが、この“等”についてももう少し具体的に記載していただけないか。	記載するようにする。

担当部署の評価内容	委員の意見
【対象】 高齢者	この基本事業での対象は「後期高齢者医療制度における被保険者」ではないのか。